

船橋市立旭中学校 技術・家庭科 家庭分野 第1学年 年間指導計画（年間35時間）

時数	指導項目	学習内容	観点別評価			指導要領の内容
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
2	ガイダンス	中学校3年間の学習の見直しを持たせる			小学校の学習を踏まえて、中学校での学習に見直しを持って取り組もうとしている。	A(1)ア
2	A. 自分の成長と家族・家庭生活 ①家族とは何だろう	今現在の家族との関わりやを振り返り、現状を理解する。	家族にやっていること、やってもらっていることを整理できる。		家族はどんな存在なのかを考えている。	A(1)ア A(3)アイ
2	②家族のためにできること考えよう	様々な家族の在り方を考え、自分に合った家族との関わりを考える。	目的や伝えたいことを明確にして発表が出来る。様々な家族の在り方や暮らし方があることが理解できる。	今までの生活を振り返り、これからの家族との関わり方を見つけられる。	今後の自分と家族との関わりに関心をもち、家族関係をよりよくするためにできることを実践しようとしている。	
2	③地域の高齢者との関わりを考えよう	中学生と高齢者の違いを考え、お互いがよりよく過ごせる関わり方を考える。	中学生と高齢者の違いを理解できる。	高齢者と中学生の交流方法を工夫して考えられる。	高齢者との関わりに関心をもち、関わりを持って考えている。	
2	B. 衣生活 ①衣服の役割とはたらきを知ろう	衣服着用の理由を考え、衣服のはたらきを知る。	衣服の役割やはたらきを理解出来る。		衣服の着用について関心をもち、学習し、生活をよりよくしようとしている。	B(4)アイ
2	②自分らしい色や服装を考えよう	個性や自分らしさを表わし、時と場に応じた衣服の計画を立てる。	衣服の社会生活上のはたらきを理解している。	目的に応じた着用や、個性を生かす着用について考え、工夫している。	衣服と社会生活のかかわりに関心をもち、TPOに合わせた衣服を着用しようとしている。	B(4)アイ
2	③布の成り立ちを知ろう	衣服の成り立ちや布の特性を知る。	布の特徴や成り立ちを理解している。		衣服の成り立ちについて関心をもち、素材の違いに関心をもち、学習しようとしている。	B(4)アイ
2	④既製服の表示と手入れの仕方	既製服の表示の見方と、素材に合った手入れの仕方を知る。	衣服の材料や汚れ方に合った手入れを選択し、実践できる。手入れの方法と要点を理解している。	衣服の材料や状態に応じた洗濯や補修について考え、工夫している。	衣服の材料や状態に応じた手入れに関心をもち、洗濯や補修の課題に取り組もうとしている。	B(4)アイ
2	⑤和服と洋服の違いを知ろう	和服の文化に関心をもち、和服と洋服の違いを知る	衣服と社会生活との関わりについて理解している。			B(4)ア
2	⑥ミシンの使い方を知らう	安全なミシンの操作を理解する。	ミシン操作を正しく行える。		関心をもち、安心なミシン操作をしようとしている。	B(5)アイ
12	⑦生活を豊かにするトートバッグを制作しよう	自分らしいトートバッグを制作する。	安全で能率よく布を用いた製作を行える。布を用いた製作に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。	生活を豊かにするためのトートバッグを考え、製作計画や方法を工夫して考えている。	布を用いた物製作に関心をもち、学習し、生活を豊かにしようとしている。	B(5)アイ
3	⑧生活の課題と実践	衣生活の学習を振り返り、自分の生活の課題や改善点を考える。		自分や家族の衣生活や環境について問題を見出し、課題を設定して解決策を表現することができる。	よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	B(7) C(3)